

年 組 番 名前

教材 4 - (1) 地域の人々の健康な生活や良好な生活かんきょうを守るための活動

わたしたちは、「水のふるさと」について学習しました。

【資料 1】【資料 2】を見て、【説明】の(ア)～(ウ)にあてはまる言葉を、下の の中の①～⑩から1つずつ選んで、その番号を書きましょう。

【資料 1】



【資料 2】



【説明】

(ア) は、水不足がおきないようにするとともに、わたしたちの暮らしに必要な水の量を調節します。

水げんの森林は、 (イ) をたくわえ、洪水を^{こうずい}防いだり、水をきれいにしたりします。 (ア) と同じような働きがあることから、 (ウ) と呼ばれています。

- ①下水 ②川 ③緑のダム ④山 ⑤海水
⑥ダム ⑦水道 ⑧発電所 ⑨雨水 ⑩信号機

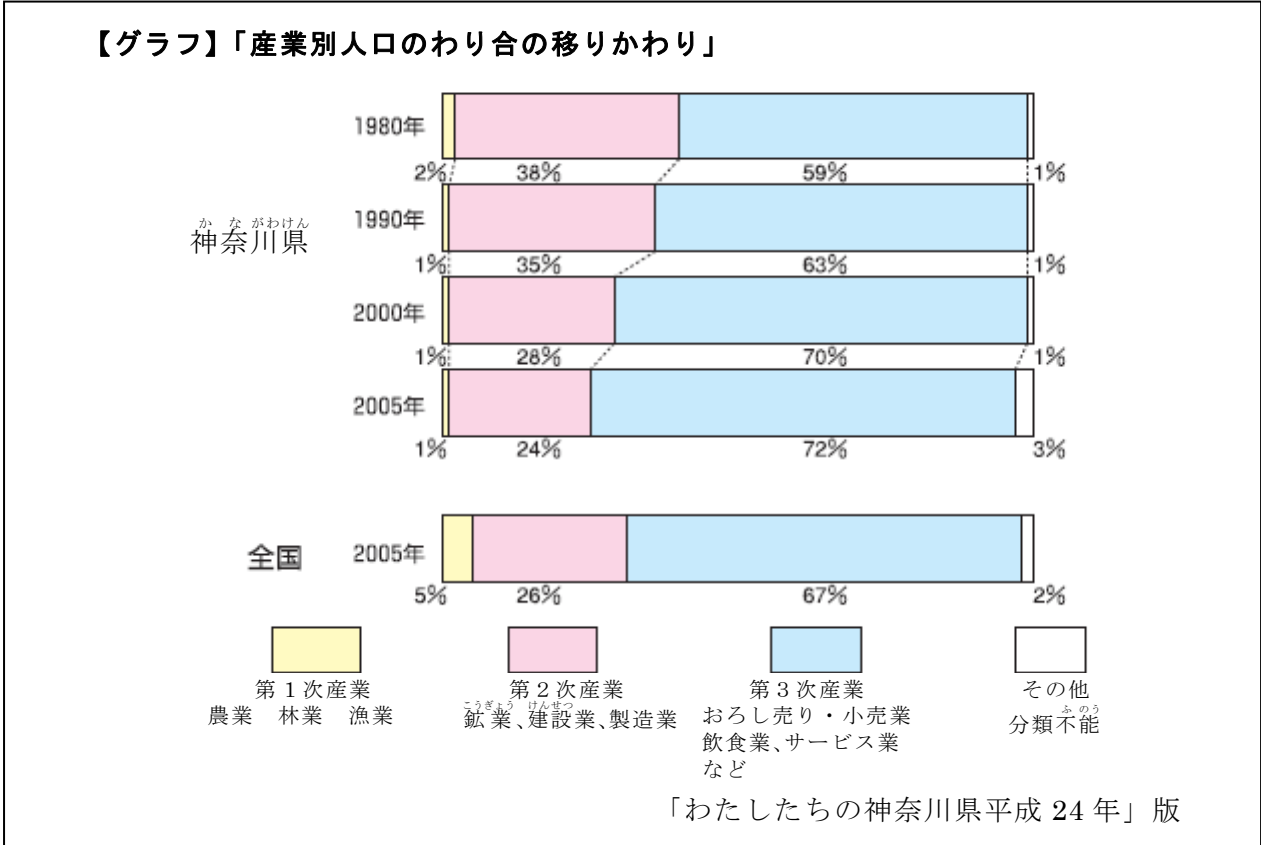
解答欄

(ア) (イ) (ウ)

教材 4 - (2)

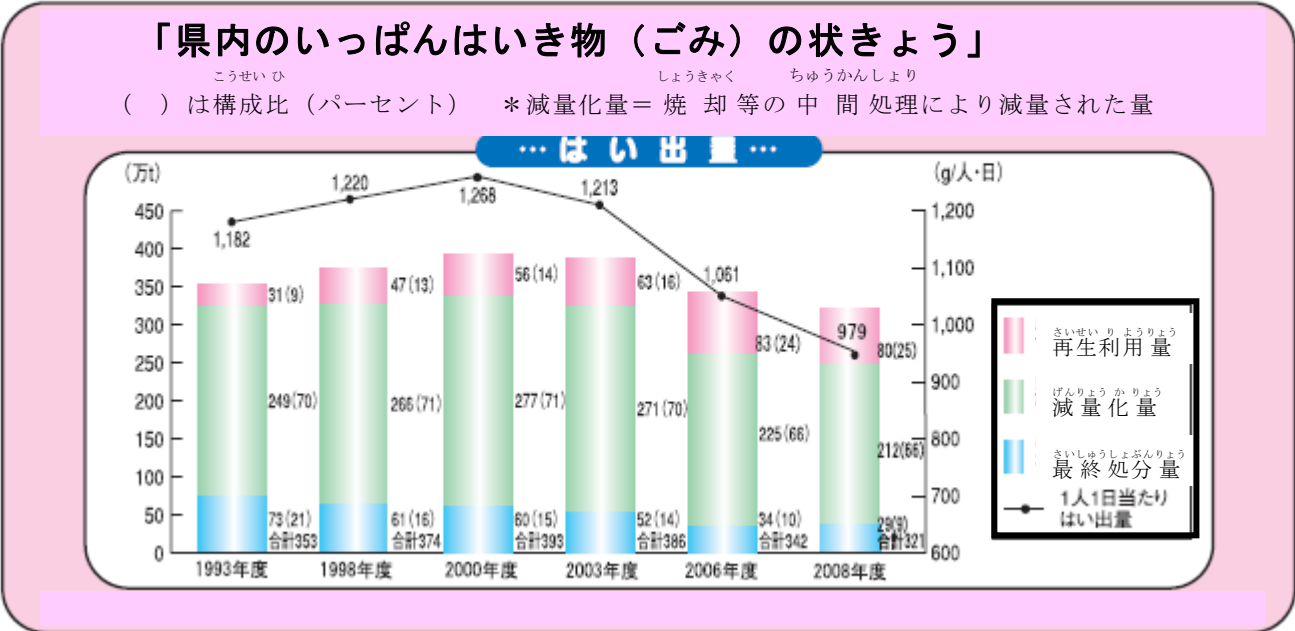
しりょう
資料の活用

① 次の「産業別人口のわり合の移りかわり」のグラフを見て、気づいたことをまとめましょう。

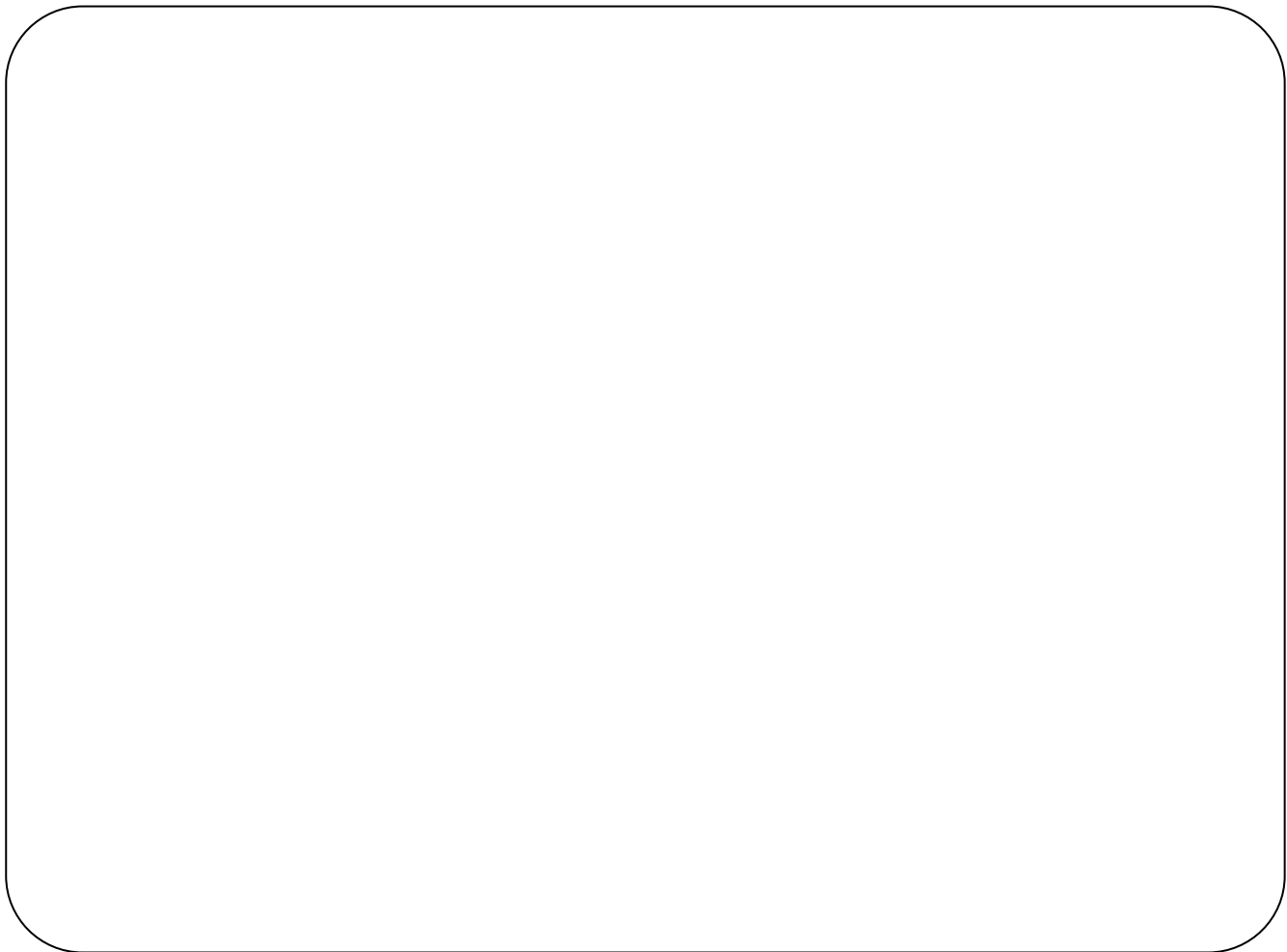


② 次の【グラフ】「県内のいっばんはいき物（ごみ）の状きょう」を見て、気づいたことをまとめましょう。

【グラフ】



「わたしたちの神奈川県平成 24 年版」



□ 年 □ 組 □ 番 名前 □

教材 4-(3) ワークシート


健康な生活や良好な生活かん境きょうを守るためのしよ活動

ごみが多くなってしまう原因げんいんについてまとめてみましょう。


Blank area for writing answers to the question above.

ごみを少なくするための行動計画を立てましょう。


① 自分ができること



② 友達ともだちといっしょにできること



③ 多くの人と力を合わせてできること



年 組 番 名前

教材 4-(4) ワークシート

健康な生活や良好な生活かん境を守るためのしよ活動

あるクラスで、「わたしたちの使う水」の学習をふり返り、限りある資げんである水の使い方について話し合いました。

「これから自分たちにできることは何か」について、下の4人の話し合いに加わるとしたら、あなたはどのような意見を発表しますか。「わたしの考え」のらんに書きましょう。

わたしたちの生活にとって水が大切な資げんであることが分かりました。

これからは、おふろの残り湯は、せんとくや花の水やりに使うなど、できるだけ水をむだにしないように、使い方を工夫したいと思います。

わたしたちが安心して水道水を使えるのは、ダムやじょう水場などのし設で、たくさんの方が働いてくれているからだということが分かりました。

これからは、水道水を使うときには感謝して大切に使いたと思います。



実際に調べてみて、自分の家ではどのくらい水道水を使っているのかが分かりました。

これからは、今までと比べて使いすぎていないか点検をすることで、節水に心がけたいと思います。

ダムやじょう水場など、水道に関係するし設を作るために、多くのお金や広い土地が必要だということが分かりました。

これからは、たくさん水道水を使って、できるだけ多くの料金をはらうことで協力したいと思います。

わたしの考え

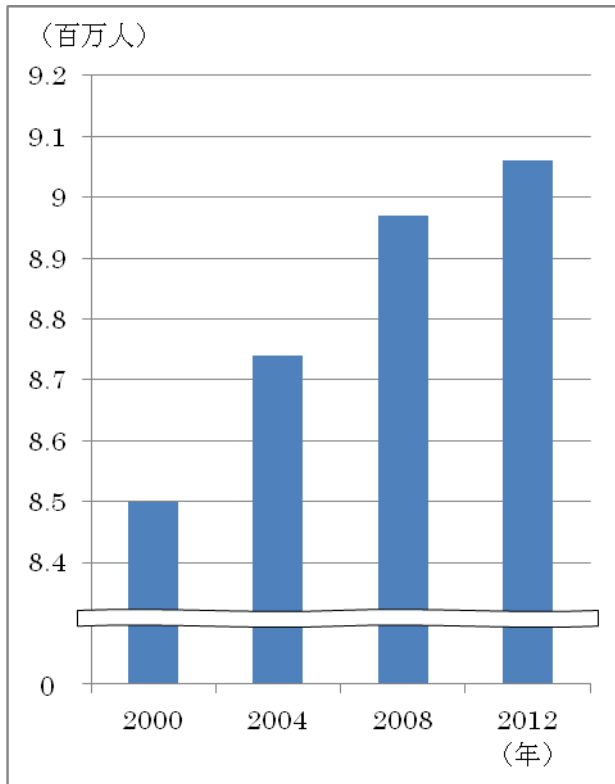
Large empty rounded rectangular box for writing the student's own thoughts.

年 組 番 名前

教材 4 - (5)

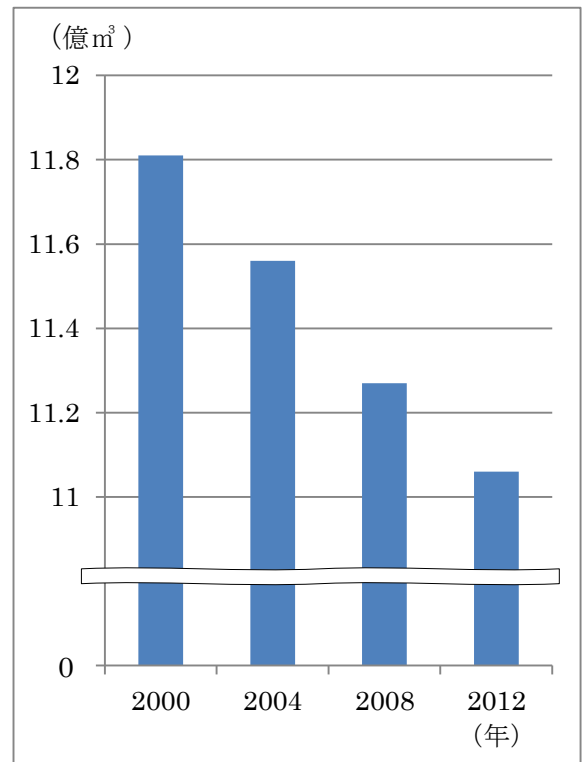
次の【資料1】【資料2】の2つのグラフをくらべて、変化の様子についてわかることを書きましょう。

【資料1】神奈川県の人



「平成24年度 神奈川の水道」から作成

【資料2】 神奈川県[※]の給水量



「平成24年度 神奈川の水道」から作成

(注) [※] 給水量：家庭や学校、会社までとどけられた水の量

人口は 、給水量は

なぜそのような変化をしているのか、その理由についてあなたの考えを書きましょう。